結果である。

2—57. 二硫化モリブデンの潤滑作用 (15) 曾田範宗，○宮原儀芳。MoS_2 を塗布，油との混合，その他の形で使用したときの潤滑特性（油性，焼けつき荷重，摩耗，高温特性等）について論ずる。

2—58. 高圧軸受の摩擦特性 (15) 曾田範宗，○宮川行雄。試作せる高圧軸受試験機により最高軸受平均圧力約 1000 kg/cm² までの高圧領域における軸受の特性についての実験結果を述べる。

2—59. 黒鉛材料の磨耗特性について (15) 吉識雅夫，○助川政之。黒鉛含有合成樹脂と種々の金属との磨耗実験を行い，軸受としての適合性を調べると共に，黒鉛材料の磨耗の機構につい考察した。

2—60. Al の再結晶 (15) 麻田宏，○小池吉蔵。一次再結晶核と旧結晶との方位の関連について粗大結晶の Al 板を用い X 線による実験結果から推論する。

2—61. チタン板の再結晶線図 (15) 和田次郎，○中村健吾。Kroll 法による 99.9% 純度のチタン板を圧延後真空焼鈍した場合の結晶粒の大きさ—圧延度—焼鈍温度の関係について述べる。

2—62. 亜鉛の粗大結晶による再結晶の研究（第2報） (15) 和田次郎，○中村健吾。高純亜鉛板の粗大結晶を引張り，続いて焼鈍した場合，再結晶核近傍の polygonization の状態及び再結晶粒について X 線で調べた結果を報告する。

2—63. 金属の低温変形後の加熱による電気抵抗の回復について (15) 和田次郎，笹川雅信，○小林重夫。低温で金属に塑性変形を行わせれば vacancy, interstitial, dislocation 等の形成による電気抵抗の増加がある。これを加熱すればこれらの格子欠陥の移動に伴い抵抗は回復する。これにつき純金属の実験結果を報告する。

2—64. 合金の低温変形後の加熱による電気抵抗の回復について (15) 和田次郎，○笹川雅信，小林重夫。固溶体を作る合金では格子欠陥の移動に伴い溶質原子の再配列を考えねばならない。これにつき主として α 真鍮の実験結果について報告する。

This document is provided by JAXA.